

世代間交流に係る主要事業一覧

事業名	事業概要
●福祉部所管	
世代間交流事業	小学校区単位で、老人クラブと小学校・保育園・幼稚園・子ども会などが昔遊び、餅つき、地域の行事への参加、スポーツなどを通じて交流。これまでは委託事業、本年度からは市の補助事業として実施。
●教育総務部所管	
学校創造推進事業	特色ある学校、幼稚園づくりのために地域人材等を活用。各学校・園において、老人クラブを始め地域の方々との交流により、昔遊び、食育、スポーツ教室、環境学習など様々な取り組みを実施。
学校支援地域本部事業（スクールボランティア事業）	学習支援、部活動支援、環境整備支援、登下校時の安全確保、合同行事開催など、学校からの協力依頼に対し、学校ボランティアを派遣。（平成24年度の登録ボランティア延べ人数：1,333人）
●生涯学習部所管	
寿大学祭 寿大学スポーツ大会	文化、スポーツを通じて寿大学生と看護学生が互いに協力して、準備、運営を行い、親睦を図り交流を深める。
いこま国際音楽祭	音楽を身近に親しむ機会を提供し、青少年の豊かな情操を育むとともに地域の音楽活動のさらなる広がり、発展に貢献することを目的とする。
国際交流の集い 「わいわいワールド」	次代を担う子どもたちが、互いに理解し、ともに生きる社会を目指して、異国間、異世代間同士で互いの文化や歴史に触れ交流する。
●市長公室所管	
いこまどんどこまつり	市民のふれあいの輪を広げ、ふるさと意識の高揚を図ることを目的として市が毎年開催している地域イベント。
市民自治協議会	例）『こんにちは』（挨拶運動）のような市民活動団体主体の活動に対して、市がチラシや宣伝ティッシュ等の補助金制度を設けている例あり。
ららポート	例）学生ボランティアへの支援 --- 福祉施設等の紹介（交流目的） 例）ららまつり
1%支援 （マイサポいこま）	参加している団体により、結果として子どもから高齢者までを対象とした取り組みが行なわれている。
●市民部所管	
交通安全ファミリー大会	子どもを対象に交通安全のクイズ大会を行い、その後、親子で参加の交通安全の映画会を開催し、親子で交通安全を考えていく。春に実施。